

かわら版

発行 森藤右衛門を顕彰する会
 代表 関口 修
 事務局 樋口信義
 酒田市東栄町一丁目一
 (電) 二八一八〇七九

賛同者の皆様、本当にありがとうございます。
 生誕百七十年、森藤右衛門の顕彰碑が完成しました。
 かわら版第一〇号に引き続き、除幕式・祝賀会を報じた各紙の記事を、紹介いたします。

森藤右衛門の功績後世へ

自由民権運動家 ワツパ騒動指導者 酒田市に顕彰碑完成・除幕



建立された顕彰碑の前で関口会長が経過報告とお礼を述べた

酒田市出身の自由民権運動家で「ワツパ騒動」の指導者として活躍した森藤右衛門（1842-185年）を顕彰する石碑が同市亀ヶ崎二丁目の横道町児童公園内に建立され、森の祥月命日でもある16日、除幕式が行われた。「森藤右衛門を顕彰する会」の関口修会長ら関係者約100人が参列。森の遺徳をしのぶとともに、その功績を長く伝え広めていくことを誓った。

ワツパ騒動で森は、武東の森藤右衛門」と並び、力に頼らない裁判闘争を展開。1878年には農民側に総額6万3000円を支払う一部勝訴の判決を勝ち取った。その後、国会開設運動に参画して庄内で初の政治結社「尽性社」を創設。81年、39歳で酒田市長（現在の酒田市長）選挙で圧勝。84年には県議に当選したが翌年、山形市で病死し、酒田・大信寺に葬られた。

自由民権運動の先駆けとして「西の板垣退助、

明治政府は1872年、租税をコメの代わりにお金で納める石代納を許可。しかし、当時の酒田原は布告を無視して農民にコメで納めさせ、米価高騰を利用して売却し、巨額の差益を得ていた。これに農民が反発。一部の士族・商人も加わるようにになった。

「森ゆかりの地に顕彰碑を建立する」などの事業計画を決めた。顕彰碑の設置場所は、酒田県庁があった酒田東高校西隣の横道町児童公園内とし、地元自治会の了承を得て決定。建立費用などとして約200万円を目標に募金活動を展開し、2倍の約400万円が集まった。建立された顕彰碑は高さ2.5m、幅2.5m、重さ約4t。庄内町の立谷沢川上流で採石した安山岩に、阿部寿一前市長が「森藤右衛門顕彰碑」と揮毫し、東北公益文科大学の三原容子教授による撰文を関口会長が書き記した黒御影石を、はめ込んでいた。関口会長は「歴史を正しく後世に伝えるため森の顕彰碑を建立しようとなったが、『なるほど』と思える場所の選定が難しかった。ここは150年前まで酒田県庁が置かれ、森も足しげく通っていた。地元協力が頂けてゆかりの地に建てられた。感謝申し上げます」と述べた。

続いて会場を同市の方一テンパレスみずほに移して祝賀会。錦流琵琶全国一水会副会長の池田青水さんの琵琶演奏などで顕彰碑の建立を祝った。

関口会長は「森の顕彰碑建立計画はこれまでもあったが、政治的なことで曲折があり、全てつぶれてきた。それが会設立からたった半年でこまに実現するのは、感激でいっぱい話している。

上の記事は、二〇一二年九月十八日付 庄内日報

コミュニティしんぶん

地域情報

1204号(4)

森藤右衛門の顕彰碑が完成 顕彰する会が除幕式を開く



今年誕生170年。命日の9月16日に除幕したいと許可したのに反し、第2次酒田県が高騰する米で納めさせて莫大な差額を得ていたことなどに反対した農民運動。森はこれを元老院などに建白して(訴えて)

明治初期の農民運動ワッパ騒動を法廷闘争によって勝利に導いた、酒田市出身の自由民権運動家・森藤右衛門(1842〜85)の業績を広める「森藤右衛門を顕彰する会」(関口修会長)は、森の命日の16日、旧酒田県庁のあった酒田東高校の隣、横道町児童公園に完成した顕彰碑の除幕式を、現地で行った。

ワッパ騒動(1873〜78)は、明治政府が農家は米ではなく金で納税してよ

法廷闘争に導き、農民有利の判決を勝ち取った。

顕彰碑は立谷沢川から採った安山岩製で、高さ165センチ、幅250センチ、厚さ40センチあり、重さは約4ト。碑文部分は黒御影石。台座も安山岩製で高さ60センチ、縦横500センチ四方の堂々としたもの。工費は約160万円。題字は阿部寿一酒田市長、撰文は三原容子東北公益文科大学教授、修書は関口会長。選文には森の来歴やワッパ騒動での活躍、自由民

権運動家としての全国的な名声などを記した。側には森の事績を詳しく解説した案内板も建てた。

式には109人が参加し、午前10時から亀ヶ崎八幡神社獅子舞を奉納して、顕彰会幹部や関係者、地元第44区横道町自治会の役員、小学児童らで除幕した。

関口会長があいさつし、会発足から半年で目標額の2倍に上る400万円が、850の個人・団体・企業から寄せられたと報告。賛同金の一部を顕彰碑の維持管理費として、横道町自治会に贈った。